

# マレーシア初等教育における美術の意義について

## The Meaning of Art in Malaysian Primary Education

山口大学 福田 隆 眞

### はじめに

本稿はアジア諸国の一つであるマレーシアの初等教育における美術教育について述べるものである。筆者は既にマレーシアの中等美術教育について報告をしてきた。<sup>(1)</sup> その目的も既に述べているが、アジア諸国の教育と美術とその背景に理解を深めるといことがあげられる。社会的背景を基盤に教育と美術がどのように位置づけられているかを知ること、今後のわが国の美術教育への示唆となると考えている。

また、アジア諸国の多くが多民族社会であり、多文化社会における教育として、伝統文化と現代文化との関連をもたせて多文化の理解教育を実践している。このこともわが国の美術教育の示唆となりうる。

さらにマレーシアでは、美術の教科名を2002年に「視覚美術教育 (Pendidikan Seni Visual)」と改訂し、現在に至っている。社会の変化に伴い、美術教育の位置づけを再考した結果である。既にこのことは中等美術教育で考察した。美術教育の意義は、初等教育段階と中等教育段階で、美術の教育という基本的な部分に変わりはないが、その基盤となっている資質の形成という点では若干の相違があると考えられる。そこで本稿では、マレーシアの現在の初等教育での美術教育の内容を教育課程に基づいて述べ、教育の変遷と育成する資質との関連を考察し、初等教育での美術教育の意義について考察する。

### I マレーシアの教育理念と教育制度

マレーシアは現在、約2400万の人口を擁した多民族国家である。民族構成はマレー系とその他原住民が60%、中華系30%、インド系8%からなり、隣国シンガポールと民族構成は類似しているが、比率が異なり、マレー系が多くを占めている現実がある。そのためマレー人優先政策のブミプトラが実施されていたり、マレー系が多くを占めるイスラム教が国の宗教に定められたりしている。そして教育の基本理念にも宗教的理念が関連しており、国家理念の「ルクヌガラ (RUKUNEGARA)」にも以下のように定められている。<sup>(2)</sup>

我々マレーシア国民は以下の5つの目的の達成を目指す。

- 1) 複合社会の統一された国家
- 2) 法的に選ばれた国会による民主社会
- 3) すべての者に平等な機会がある公正な社会
- 4) 多様な文化的伝統を持つ自由な社会
- 5) 科学と現代技術を志向する進歩的社会

これらの目的の達成は以下の原則によって導かれる。

- 1) 神への信仰
- 2) 国王と国家への忠誠
- 3) 憲法の擁護
- 4) 法の支配
- 5) 良き行動と道徳

そしてこの国家理念に基づいて教育理念が次のように定められている。

「マレーシアの教育は全体的で、総合的な個人の潜在能力を高めることを目指し、知的、精神的、情緒的、身体的な潜在的可能性を、神への信仰と服従を基盤として、均衡のとれた調和的な人格を発達させる適切な努力である。こうした努力は、見識のある規律正しい、責任感のある個人の福利を獲得し、社会と国家の調和と発展に貢献できるマレーシア国民を形成しようとするものである。」<sup>(3)</sup>

この国家の理念と教育の理念の基に教育制度が定められている。小学校から高等学校までの教育制度と教育内容の概要は次のようになっている。<sup>(4)</sup>

教育制度は6-3-2制であり、初等教育6年(小学校)と中等教育前期3年(中学校)と中等教育後期2年(高等学校)となっている。小学校、中学校、高等学校の最後にはそれぞれの国家試験が課せられている。

小学校での教育内容は「コミュニケーション」、「人間と環境」、「自己開発」の3つの領域に分かれている。そして、「コミュニケーション」領域では1~6学年まで、マレー語、中国語、タミル語、英語、算数の教科が課せられている。「人間と環境」領域では、1~3学年までにイスラム教と道徳があり、4~6学年では加えて、科学と地域研究がある。「自己開発」領域では、1~3学年までに音楽、美術、保健体育があり、4~6年ではそれらに加えて生活技術がある。授業時間は30分で行われている。

中学校での教育内容は、必修教科として、マレー語、英語、イスラム教育（ムスリム必修）、道徳（非ムスリム必修）、数学、理科、歴史、保健体育、美術、生活技術がある。追加教科として、中国語、タミル語、アラビア語がある。授業時間は40分で行なわれている。

普通高等学校では、必修教科として、マレー語、英語、イスラム教育（ムスリム必修）、道徳（非ムスリム必修）、数学、理科、歴史、保健体育がある。追加教科として中国語、タミル語、アラビア語がある。さらに、各分野の選択教科が用意されている。第1群（人文）では、マレー文学、英文学、地理、美術、アラビア語。第2群（職業・技術）では、会計原理、経済基礎、商業、農業科学、家政、追加数学、電気・電子工学、土木工学、機械工学、工業技術、工業製図。第3群（理科）では、追加理科、物理、化学、生物。第4群（イスラム学習）では、イスラム・タサウフ、コーラン・スンナ学習、シャリア学習。授業時間は40分で行なわれている。

## II 初等教育で育成する資質と教科

前述では国家の理念に基づいた教育理念と教育制度の概略を述べた。ここではそうした理念や制度の具体化として初等教育小学校で学習すべき教科と全人教育としての資質について述べる。

初等教育での教科は前述のような領域で構成されており、基本教科、義務教科、追加教科に分かれている。具体的には、1-3学年では次のようになっている。

- ・基本教科：マレー語、英語、中国語、タミル語、数学、科学、イスラム教育、道徳教育。
- ・義務教科：体育、健康教育、視覚美術教育、音楽教育。
- ・追加教科：中国語会話、タミル語会話、アラビア語会話、イバン語（3学年から）、スマイ語（3学年から）。

4-6学年では次のようになっている。

- ・基本教科：マレー語、英語、中国語、タミル語、数学、科学、地域研究、イスラム教育、道徳教育、公民権教育。
- ・義務教科：体育、健康教育、生活技術、視覚美術教育、音楽教育。
- ・追加教科：中国語会話、タミル語会話、アラビア語会話、イバン語、カダザンダスン語、スマイ語。<sup>(5)</sup>

以上のような教科の構成がなされており、その基本となる考え方には、初等教育での育成すべき資質が8つ設定されている。それは、①「言語的資質 (Kepintaran Bahasa)」、②「論理的資質 (Kepintaran Logika)」、③「空間的視覚的資質 (Kepintaran Ruang/Visual)」、④「聴覚的音楽的資質 (Kepintaran Muzik-Ritma)」、⑤「運動的資質

(Kepintaran Pergerakan/Kine Statik)」、⑥「自立的資質 (Kepintaran Hubungan Kendiri)」、⑦「人間関係的資質 (Kepintaran Perhubungan Dengan Orang Lain)」、⑧「自然環境的資質 (Kepintaran Natural)」である。<sup>(6)</sup>これは初等教育段階において全人的資質の教育を重視している表われである。2000年9月の段階で、マレーシア教育省カリキュラム開発センターのカリキュラムディレクターのZaidi Abdul Hamidは、「初等教育においてはすべての教科の学習が均衡になされるべきだと考える。語学も数学も音楽も美術も、すべての教科がそれぞれに人間として必要な資質を形成するものであるから、均衡のとれた資質の発達が望ましいと考える」と述べている。<sup>(7)</sup>各教科と資質の関連は有機的ではあるが、主として育成する資質との関連は、次のような対応が想定される。①言語的資質：マレー語、英語、タミル語他、②論理的資質：数学、科学、③空間的視覚的資質：視覚美術、④聴覚的音楽的資質：音楽、⑤運動的資質：体育、⑥自立的資質：イスラム教育、健康教育、⑦人間関係的資質：道徳教育、公民権教育、生活技術、⑧自然環境的資質：健康教育、生活技術、地域研究。そして各教科においても8つの資質に関連する教材、教育方法が想定される。

この8つの資質の育成のために教科と教科外活動の教育内容の設定を行って初等教育が実施されている。全人的な教育の重視は就学前教育においてもなされており、小学校以前の教育内容として次の6項目があげられる。それは、①言語とコミュニケーション、②認識能力の発達、③精神性と道徳、④社会性の発達、⑤身体的発達、⑥創造性と審美観の6つである。<sup>(8)</sup>小学校での教科はこうした6つの項目を基本とした8つの資質を育成するために、基本教科、義務教科を基礎としている。追加教科は民族構成による実態に対応するために設置されている。

このように初等教育段階での美術教育は、均衡ある全人的資質の発達のために創造性と審美観を育成するとともに、空間的視覚的資質の発達のために一つの重要な役割を担っている。次では、初等教育小学校での視覚美術教育の教育課程について述べる。

## III 初等教育視覚美術の教育課程

美術教育は就学前教育段階においても小学校においても、全人的な教育として位置付けられていることを前章で述べた。初等教育小学校の美術教育は「視覚美術教育 (Pendidikan Seni Visual)」という教科名で行なわれている。2002年以前は単に「美術教育」とされていた。新しい教育課程では「視覚」という言葉が教科名に付加された。

以下では、新しい教育課程における視覚美術教育の目的、活動内容について述べる。<sup>(9)</sup>

#### (1) 目的

小学校での視覚美術教育において、児童は次のことをできるようにする。

- 1) 神の創造における美を尊重する。
- 2) 視覚美術の活動において、活発に、批評的に、創造的に、そして楽しく関わる。
- 3) 五感を通して、知覚と想像の力を鋭敏にする。
- 4) 造形美術の基礎とその活用方法を知る。
- 5) 視覚美術の様々な活動において基礎的な技能を伸ばす。
- 6) 秩序や配慮、安全を考慮したデザインに親しむ。
- 7) 共同作業を通して、自己への信頼、秩序、清潔、安全重視などの多様な価値を実践する。
- 8) マレーシアの芸術の名人や文化を知り尊重する。
- 9) 視覚美術の作品制作において技術的な用具を使う。
- 10) 効果的な余暇活動として視覚美術の活動に関わる。

#### (2) 活動内容

視覚美術の主な活動は次の4つである。

- 1) 活動への関心。
- 2) 道具と材料による批評的、創造的な相互作用。
- 3) 平易な視覚美術の鑑賞。
- 4) 生活の観点から全てのことを尊重する。

#### (3) 内容解説

視覚美術教育の内容解説は、後述のように1学年から6学年まで詳しくなされている。この解説は教師が学習計画を立て、授業をより効果的に行なうために役に立つことを目的としている。各学年の詳しい解説は3つの基本線を用意している。学習分野、学習成果、学習活動例である。

そしてこれらには3つのレベルが想定されている。

・レベル1：視覚美術の概念と機能の説明を理解する。このレベルは児童が全員達成される必要がある。

・レベル2：作品制作をするために適切な道具、材料、技術が使用できる。

・レベル3：このレベルの活動は質が高く創造的な性格を備えた作品制作を重視する。

#### (4) 学習内容

学習内容は、絵画、デザイン、工作、伝統工芸の理解、4つの分野としている。

絵画の分野では、次のような題材があげられる。描画、彩色画、コラージュ、モンタージュ、版画、はじき絵、擦り絵、ステンシル、スパッタリング、ポスター、モザイク。

デザインの分野では、構成的内容や模様作成なども含まれていて、意図的でないデザインと計画的なデザインと

に分けている。意図的でないものとして、マーブリング、吹き絵、たらし絵、絞り染め、散らし絵をあげ、計画的なものとしては、描画、版画、彩色画、印刷、折と切断、はじき絵、コラージュ、カリグラフィーである。

工作の分野は立体造形の内容を全て含んでいる。具体的には、彫刻、アッサンブラージュ、モビール、スタービル、ジオラマ、人形、お面、折り紙である。

そして伝統工芸の理解の分野では、家庭用品、玩具、飾るもの、パティック、織物、彫刻、アニヤマン、焼き物、武器である。

この教育課程での美術教育の目的は、基本的には前回の教育課程1994年のものと大きな変更はない。<sup>(10)</sup> 強いて差異を見るならば、前回のものでは積極的な観察活動が強調されていたが、今回は削除されている。美術の表現方法を写実的再現の方法のみを重視するのではなく、幅広い創造的な方法を重要視しようとしている。

## IV 初等教育小学校視覚美術の内容

2002年の教育課程の改訂を受けて、学習指導要領に相当する解説が公表された。それには具体的な題材が提示されている。<sup>(11)</sup> この解説書では、学年ごとに視覚美術教育の目的と具体的な題材が分野、学習成果、学習活動計画の3つの内容で示されている。現段階において、小学校用の視覚美術教育の教科書は発行されてなく、授業内容はこの解説書によって教師が指導することになっている。

以下に、各学年における学習分野と教材例を簡略に記述する。

#### (1) 第1学年

目的：1学年修了までに児童は次のことが出来る。

- 1) 各活動の概念と機能を理解する。
- 2) 様々なもの、道具、材料の効果を自発的に開拓、選択する方法で感受し確実に理解する。
- 3) 好き嫌いの面からものを見たり触れたり聞いたりして明らかにする経験をする。
- 4) 材料を創造的に、選択し、設定し、整理し、操作する。
- 5) 絵画、デザイン、工作、工芸の活動を通して、感情、考え、イメージを明らかにする。
- 6) 楽しい気持ちで視覚美術の活動を行ない、充実感を得る。
- 7) 共同作業を通して、自己への信頼、秩序、清潔、安全重視などの多様な価値を実践する。
- 8) 自分と友達の作品を理解し尊重する。

以上の目標を達成するために、具体的に次のような題

材例が提案されている。

- 1) 絵画：①身の周りの線の効果を観察する。白蟻、蝸牛、蟹、水路、タイヤの跡、靴底の形などにより線の性質や種類を観察する。例えば、厚い、薄い、深い、浅い、破線、直線、ジグザグなど。②スケッチ③擦り絵④線画⑤トレース⑥コラージュ。
- 2) 模様とデザイン：①スタンプ②折りたたんで切る③擦る④重ねる⑤コラージュ⑥ドロップ⑦スケッチ⑧版画。
- 3) 工作：①簡単な建物②オーナメント③マスク④折り紙⑤材料：ペットボトル、缶、箱、紙、粘土、色紙、プラスチック。
- 4) 伝統工芸の理解：①アニヤマン②凧③陶芸④独楽⑤材料：色紙、マニラ紙、箱、雑誌、プラスチック。

## (2) 第2学年

目的：2学年修了までに児童は次のことが出来る。

- 1) 各活動の概念と機能を理解する。
- 2) 様々なもの、道具、材料の効果を自発的に開拓、選択する方法で感受し確実に理解する。
- 3) 好き嫌いの面からものを見たり触れたり聞いたりして明らかにする経験をする。
- 4) 絵画、デザイン、工作、工芸の活動を通して基礎的材料、応用的材料を扱う。
- 5) 材料を創造的に、選択し、設定し、整理し、操作する。
- 6) 自然材料や特別の材料を開拓することを通して、視覚美術の様々な技法と制作過程を使用する。
- 7) 共同作業を通して、自己への信頼、秩序、清潔、安全重視などの多様な価値を実践する。
- 8) 視覚美術の活動に関心、創造力、イメージを高める。

以上の目標を達成するために、具体的に次のような題材例が提案されている。

- 1) 絵画：①ステンシル②コラージュ③漫画④フロッター⑤スタンプ⑥版画⑦はじき絵⑧彩色画⑨引っかき絵。
- 2) 模様とデザイン：①引っかく②はじく③彩色④スタンプ⑤コラージュ⑥ステンシル⑦版画⑧折って切る。
- 3) 工作：①オーナメント②人形③模型④トレース⑤折り紙⑥お面。
- 4) 伝統工芸の理解：①バティック②凧③装飾④陶芸⑤アニヤマン⑥ポートフォリオ。

## (3) 第3学年

目的：3学年修了までに児童は次のことが出来る。

- 1) 各活動の概念と機能を理解する。
- 2) 材料を創造的に、選択し、設定し、整理し、操作す

る。

- 3) 絵画、デザイン、工作、伝統工芸の活動を通して、様々な道具、材料技法を開発する。
- 4) 視覚美術の活動に関心、創造力、イメージを高める。
- 5) 作品に見られる植物、動物の要素を評価し鑑賞する。
- 6) 共同作業を通して、自己への信頼、秩序、清潔、安全重視などの多様な価値を実践する。
- 7) 自分と友達の作品を尊重する。

以上の目標を達成するために、具体的に次のような題材例が提案されている。

- 1) 絵画：①ステンシル②モンタージュ③スタンプ④彩色⑤コラージュ⑥はじき絵⑦漫画⑧重ね絵⑨版画。
- 2) 模様とデザイン：①版画②スタンプ③折って切る④紐で引っ張る⑤コラージュ⑥ステンシル⑦重ねる⑧彩色。
- 3) 工作：①彫刻②トレース③模型④お面⑤アッサンプラージュ⑥楽器⑦紙の積層。
- 4) 伝統工芸の理解：①バティック②凧③独楽④アニヤマン⑤陶芸⑥装飾⑦防具。

## (4) 第4学年

目的：4学年修了までに児童は次のことが出来る。

- 1) 各活動の概念と機能を理解する。
- 2) 創造的な方法で作品制作を行い造形美術の基礎的要素を理解し活用する。
- 3) 作品制作のために道具、材料、技法を使用する知識と技能を高める。
- 4) 視覚美術のすべての活動において創造力とイメージを高める。
- 5) 共同作業を通して、自己への信頼、秩序、清潔、安全重視などの多様な価値を実践する。
- 6) 自分と友達の作品を尊重する。
- 7) ポートフォリオ制作のために情報と知識を収集記録する。

以上の目標を達成するために、具体的に次のような題材例が提案されている。

- 1) 絵画：①描画②ステンシル③コラージュ④はじき絵⑤スタンプ⑥モザイク⑦版画⑧彩色画⑨自然の観察。
- 2) 模様とデザイン：①スタンプ②版画③描画④折って切る⑤重ねる⑥コラージュ。
- 3) 工作：①彫刻②模型③モビール④お面⑤ジオラマ⑥アッサンプラージュ⑦デモンストレーション。
- 4) 伝統工芸の理解：①織物②陶芸③刺繍④ビーズ⑤アニヤマン⑥ポートフォリオ⑦デモンストレーション。

## (5) 第5学年

目的：5学年修了までに児童は次のことが出来る。

- 1) 各活動の概念と機能を理解する。
- 2) 創造的な方法で作品制作を行い造形美術の基礎的要素を理解し活用する。
- 3) 制作において観察の基礎を発展させコンピューター支援を発展させる。
- 4) 視覚美術の活動と他の科目を創造的に新しい考えで相互に混ぜ合わせる。
- 5) 創造的な制作において様々な道具、材料、技法を組み合わせる。
- 6) 共同作業を通して、自己への信頼、秩序、清潔、安全重視などの多様な価値を実践する。
- 7) 地域の画家や工芸家の表現を評価する。
- 8) ポートフォリオ制作のために情報と知識を収集記録する。

以上の目標を達成するために、具体的に次のような題材例が提案されている。

- 1) 絵画：①コラージュ②はじき絵③彩色画④モザイク⑤版画⑥スタンプ⑦描画⑧コンピューターによるペイントブラシ、フォトショップ、ワードの使用⑨神の創造における造形美術の要素の学習⑩展覧会の批評、児童の作品の批評。
- 2) 模様とデザイン：①彩色②描画③コラージュ④はじき絵⑤対象を飾る⑥折って切る⑦コンピューターによるペイントブラシ、フォトショップ、ワードの使用。
- 3) 工作：①彫刻②人形③アッサンプラージュ④楽器⑤装飾⑥パッケージ⑦コンピューターによるペイントブラシ、フォトショップ、ワードの使用⑧ポートフォリオ。
- 4) 伝統工芸：①パティック②木工③織物④陶芸⑤アニヤマン⑥刺繍⑦コンピューターによるペイントブラシ、フォトショップ、ワードの使用。

#### (6) 第6学年

目的：5学年修了までに児童は次のことが出来る。

- 1) 各活動の概念と機能を理解する。
- 2) 造形美術の基礎を強化し創造的で機能的な視覚美術の作品制作を行う。
- 3) 造形美術の基礎的知識を高め制作の中で応用する。
- 4) 制作においてコンピューターの使用を発展させる。
- 5) 視覚美術の作品制作において道具、材料、技法を多様化する。
- 6) 視覚美術の活動を通して地域の画家の表現とマレーシアの文化の要素を尊重する。
- 7) 自分の作品や友達作品を口頭で説明しポートフォリオに学習の記録を残す。
- 8) 共同作業を通して、自己への信頼、秩序、清潔、安

全重視などの多様な価値を実践する。

以上の目標を達成するために、具体的に次のような題材例が提案されている。

- 1) 絵画：①コラージュ②彩色画③モンタージュ④モザイク⑤描画⑥コピーによる版画⑦コンピューターによるペイントブラシ、フォトショップ、ワードの使用。
- 2) 模様とデザイン：①彩色②カリグラフィ③コピーによる版画④平面と立体の装飾⑤折って切る⑥ポートフォリオ⑦コンピューターによるペイントブラシ、フォトショップ、ワードの使用。
- 3) 工作：①彫刻②人形③アッサンプラージュ④楽器⑤装飾⑥パッケージ⑦コンピューターによるペイントブラシ、フォトショップ、ワードの使用⑧ポートフォリオ。
- 4) 伝統工芸の理解：①パティック②木工③織物④陶芸⑤アニヤマン⑥刺繍⑦コンピューターによるペイントブラシ、フォトショップ、ワードの使用。

以上が教育課程の解説書による小学校での視覚美術教育の指導内容である。

特徴としては次のような点があげられる。①造形の要素と表現技法が1学年から具体的に記載されている。②デザインでは模様を含んで、基礎造形としての構成の学習を促している。③コンピューターによる学習が5学年から導入されている。

ここでは個々の題材の技術的な解説や技法の紹介は略されている。このような解説書に類似したものは、以前からも公表されていて、その一つとして、1987年から1992年にかけて教育省が発行した「特別指導書美術教育」<sup>(12)</sup>では、学年ごとの美術教育の目的の他に、習得する技能、内容、活動の種類が3項目があげられている。そして完成作品、参考作品が掲載されている。ここでも技術・技法の解説は少なく、その後1998年には教育省カリキュラム開発センターから教師用資料が発行された。それは、題材、材料、用具、技法、指導計画、美術用語の記載された解説が詳細に記載された解説書となっている。<sup>(13)</sup>

このように教師のための教育課程、指導書は整備されているが、児童のための美術教育の教科書は公式には初等教育、中等教育のいずれにおいても刊行されていない。しかし、中等教育においては民間の出版社から参考書として従前から発行されているものがある。<sup>(14)</sup> 初等教育の視覚美術教育では、児童用の教科書、参考書は発行されておらず、授業の展開は教師に委ねられており、その指導は教育課程に基づいたナショナル・カリキュラムによってなされている。ナショナル・カリキュラムの必要性は、ボルネオ島を東マレーシアとする地理的問題や先住民と多民族の複合社

会などの社会状況による諸要因によるものと考えられる。

## V 教育課程の変遷と美術教育の意義

前章までに初等教育小学校の視覚美術教育の目的と内容について述べた。ここでは小学校の教育の目的の変遷にともなう美術教育の特徴と意義について述べ、本稿のまとめとする。

マレーシアの独立後の教育課程の方針の検討は、マレーシア・プランと呼ばれる国家計画に基づいていて実施されている。マレーシア・プランは1966年に第一次が開始され、5年間隔で次のプランが実施される。現在、第八次マレーシア・プランが終了したところである。

初等教育に関わるマレーシア・プランでは、次のものがある。第一次(1966-1971)では、国民教育制度の強化、教育機会の地域的拡大など。第二次(1971-1975)では、国民教育制度の強化、科学技術の重視と教育の質的改善など。第三次(1976-1980)では、マハティール報告による小学校新教育課程(KBSM:Kurikulum Baru Sekolah Rendah後にKurikulum Bersepadu Sekolah Rendah)の設定、市民性と道徳的規律の促進などである。第五次(1986-1990)では、国民統合の促進が謳われている。第六次(1991-1995)では国家開発計画によって人材開発、良識ある市民の形成が強調されている。<sup>(15)</sup>現在の教育課程の基礎となっているのは1979年に設置された小学校新教育課程である。その後、美術教育は1994年、2000年の改訂を経て、2002年の改訂で現在の視覚美術教育に至っている。

これらのマレーシア・プランによる教育課程の変遷を概観すると、1966年から1985年まではマレーシアという国家の形成のために、国家統合促進に教育が資するものとされた。したがってマレー語、英語の重視、教育制度の整備、科学技術の促進などが重視された。そして1986年から1995年では国家的統合促進、科学技術の重視とともに人格、道徳の育成があげられている。その後1996年以降は、道徳精神の高い優秀な人材の育成が重視され、学校教育においても課外活動、ボランティア活動、イスラム教育の重視などが進められてきた。<sup>(16)</sup>こうした変遷は経済成長やそれに伴う生活環境の変化が影響をしている。経済成長は1991年からの第六次計画から発展し、2001年の経済危機を乗り越えて、2020年の先進国達成を目標に、現在も発展している。<sup>(17)</sup>

経済成長に伴って日常生活は近代化・現代化をしていく傾向にある。また、都市への人口集中によって、欧米の機能的な集合住宅の建設、交通網の整備、電子機器・情報機器の流布等、様々な分野において変革がもたらされる。そこには往々にして機能や合理性を重視した生活環境が形成

される傾向にある。それはまた、インターナショナル・スタイルの受容と流布に関係している。

わが国を含めてアジア諸国は、伝統文化と西欧化の影響の大きい現代文化との融合の中で生活が営まれ、教育が行われている。そして経済成長による生活の安定は、余暇の有効利用、教養、趣味、娯楽といった生活の豊かさの追求をもたらしてくれる。また、産業、情報の発達に伴って、技術・技能を備えて、しかも、より創造的な人間の育成が求められるようになってくる。<sup>(18)</sup>

そうした社会の変化に伴って、マレーシアの初等教育では前述の8つの資質の均衡ある発達が促されてきた。それは小学校新教育課程(KBSM)の哲学となっている「統合的アプローチ」、「個人の全人的発達」、「教育の機会均等」、「生涯教育」に基づいて行われてきた。<sup>(19)</sup>初等美術教育においても全人的資質の育成として教科が位置付けられ、特に、空間的視覚的資質の育成を行っている。それとともに視覚美術教育の活動を通して、論理的資質、自立的資質、人間関係の資質、自然環境の資質などの資質の育成にも関与している。そのような全人的資質に関連した空間的視覚的資質の育成の延長上に、美術教育の具体的目的と特徴がある。それは視覚的環境への対応と造形要素と視覚言語を理解した表現方法の習得であり、また、伝統工芸の理解と文化的継承を重視するものである。そしてこのことが中等教育へと繋がり、初等教育での全人的資質と空間的視覚的資質の育成の上に、美術の表現、理解、鑑賞の活動が展開されるように設定されていると考えられる。

## 注

- 1 拙稿「マレーシアの美術教育とその背景について—中等美術教育における視覚美術教育を中心に—」大学美術教育学会誌39号 2007、「マレーシアの中等美術教育の教材について」大学美術教育学会誌36号 2004 などによって教育課程、教育内容を報告した。
- 2 マレーシア日本人商工会議所調査委員会編集「マレーシアハンドブック 2005」マレーシア日本人商工会議所 2005
- 3 前掲書2
- 4 教育制度と教育内容の概略については次の資料を参考にした。前掲書2、財団法人自治体国際化協会 CLAIR REPORT NUMBER 217 (JULY12,2001)「マレーシアの教育」財団法人自治体国際化協会シンガポール事務所
- 5 Pusat Perkembangan Kurikulum, Kementerian Pelajaran Malaysia, "Mata Pelajaran Sekolah Rendah" ([http://www.ppk.kpm.my/sub\\_1.htm](http://www.ppk.kpm.my/sub_1.htm))
- 6 Pusat Perkembangan Kurikulum, Kementerian Pelajaran Malaysia, "PROSES PENGUBALAN DAN PENYUMAKAN SEMULA", KURIKULUM BERSEPADU SEKOLAH RENDAH/MENENGAH ([http://myschoolnet.ppk.kpm.my/sp\\_hsp/gubalpps#1](http://myschoolnet.ppk.kpm.my/sp_hsp/gubalpps#1))  
この8つの資質については、1998年の段階では自然環境の資質はまだ設定されていなくて他の7つの資質として公表されていた。(マレーシア教育省カリキュラム開発センターZaidi Abdul

Hamid氏の説明による)

- 7 Curriculum Development Centre Ministry of Education Malaysia, "CURRICULUM Pre-School Education, Primary School Education, Secondary School Education" 1999、及び2000年9月、Zaidi氏との面談調査による。
- 8 Mata Pelajaran Sekolah Rendah, Pusat Perkembangan Kurikulum, Kementerian Pelajaran Malaysia ([http://www.ppk.kpm.my/sub\\_1.htm](http://www.ppk.kpm.my/sub_1.htm))
- 9 KEMENTERIAN PENDIDIKAN MALAYSIA, "Kurikulum Bersepadu Sekolah Rendah, Huraian Sukatan Pelajaran PENDIDIKAN SENI VISUAL", Pusat Perkembangan Kurikulum Kementerian Pendidikan Malaysia, 2002
- 10 SUKATAN PELAJARAN SEKOLAH RENDAH, PENDIDIKAN SENI 1994, Kementerian Pendidikan Malaysia
- 11 前掲書9
- 12 以下のような解説書が発行されている。
  - ・Kementerian Pendidikan Malyasia, "Kurikulum Baru Sekolah Rendah Buku Panduan Khas PENDIDIKAN SENI Tahun Dua",1988
  - ・Kementerian Pendidikan Malyasia, "Kurikulum Baru Sekolah Rendah Buku Panduan Khas PENDIDIKAN SENI Tahun Tiga",1987
  - ・Kementerian Pendidikan Malyasia, "Kurikulum Baru Sekolah Rendah Buku Panduan Khas PENDIDIKAN SENI Tahun Empat",1992
  - ・Kementerian Pendidikan Malyasia, "Kurikulum Baru Sekolah Rendah Buku Panduan Khas PENDIDIKAN SENI Tahun Lima",1992
  - ・Kementerian Pendidikan Malyasia, "Kurikulum Baru Sekolah Rendah Buku Panduan Khas PENDIDIKAN SENI Tahun Enam",1992
- 13 Buku Sumber Guru, "Pendidikan Seni Kurikulum Bersepadu Sekolah Rendah", Pusat Perkembangan Kurikulum Kementerian Pendidikan Malaysia, 1998
- 14 前掲書1を参照。
- 15 マレーシア日本人商工会議所調査委員会 「マレーシアハンドブック98」 マレーシア日本人商工会議所 pp35-38 1998及び、竹熊尚夫 「マレーシアの民族教育制度研究」 九州大学出版会pp30-32 1998
- 16 前掲書15 「マレーシアハンドブック98」
- 17 前掲書2
- 18 わが国の戦後の教育課程の変遷を見ても、系統的な教育課程から創造性や個性を重視した人間的教育課程に移行した背景の一つに経済的発展があげられる。また、現在の中国、台湾、シンガポールなどの教育課程においても創造性が重視された内容となっている。(国立教育政策研究所「諸外国の教育課程(2) - 教育課程の基準及び各教科等の目標・内容構成等 - (アメリカ合衆国、イギリス、フランス、ドイツ、中華人民共和国、韓国、シンガポール、台湾)」平成19年3月参照)
- 19 前掲書7

#### 参考文献

- ・マレーシア日本人商工会議所調査委員会、「マレーシアハンドブック98」、マレーシア日本人商工会議所、1998
- ・Education Planning and Research Division, Ministry of Education, Malaysia, Education in Malaysia 1989, Ministry of Education Malaysia
- ・Pendidikan di Malaysia Sejarah, Sistem dan Falsafah, Sufean Hussin, Dewan Bahasa dan Pustaka, KL 1996
- ・Mulyadi Mahamood, Seni Lukis dalam peristiwa, Dewan Bahasa dan Pustaka, 1995
- ・Mulyadi Mahamood, Mendekati Seni Lukis dan Seni Reka, Dewan Bahasa dan Pustaka, 1993
- ・Dr. Saedah Hj.Siraj dll, "PENDIDIKAN DI MALAYSIA", Utusan Publications & Distributors Sdn Bhd, 1993
- ・Mok Soon Sang, "PENDIDIKAN DI MALAYSIA" Kumpulan Budiman Sdn Bhd, 2000

# The Meaning of Art in Malaysian Primary Education

FUKUDA Takamasa

Yamaguchi University

The purpose of this article is to investigate the meaning of art education in Malaysian primary education. Malaysia has revised its school curriculum in 2000 and replaced the former art subject with a new subject, pendidikan seni visual [visual art education], that includes the word “visual.”

At primary school level, Malaysian school education aims at developing eight qualities that are necessary for the formation of human character. They are: linguistic quality, logical quality, spatial and visual quality, audio-musical quality, athletic quality, the quality of independence, quality to have a good human relationship, and natural environmental quality. Primary school education aims at developing these eight qualities with equal emphases.

Art education promotes artistic expression and the understanding of art by the introduction of the elements of the plastic art and visual languages. Teaching materials of art include painting, design, handicraft and traditional handicraft in order to develop pupils' interest in visual art, creativity and ability to image. The primary school curriculum offers examples of teaching materials and the contents of learning for each grade. Art education plays its role in education for developing whole personality by linking its specific contents with the eight qualities.